

# News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10  
TEL.0852-55-1000  
https://www.gogin.co.jp

2022年5月26日

## 勘定系システム共同グループの枠組みを超えた業務アプリの相互利用・共同開発について ～「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」の取り組み【第1弾】～

山陰合同銀行は、勘定系システムの共同化グループ※<sup>1</sup>の枠組みを越えたシステム運用の効率化を検討する「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（以下、「CMS-WG」）」の取り組みの第1弾として、オンラインデータ連携基盤/SEHub※<sup>2</sup>を活用したアプリ相互流通スキーム（以下、「相互流通スキーム」）を参加行とともに立ち上げましたのでお知らせします。

当行では、今後も地銀共同センターおよびMEJARの参加行との連携の枠組みを活用し、お客様に付加価値の高いサービスを提供するとともに、さらなる利便性向上とコンサルティング体制強化を実現してまいります。

※<sup>1</sup> 勘定系システムの共同化グループ（地銀共同センター、MEJAR）参加行は【別紙】をご参照ください。

※<sup>2</sup> オンラインデータ連携基盤/SEHubは、勘定系システムなどの銀行システムと外部サービスをAPI接続により容易に接続できるシステム基盤で、これによりインターネットやスマートフォンアプリなどの非対面チャネルにおけるスピーディーな銀行サービスの提供が可能となります。

### 記

#### 1. 立ち上げの理由

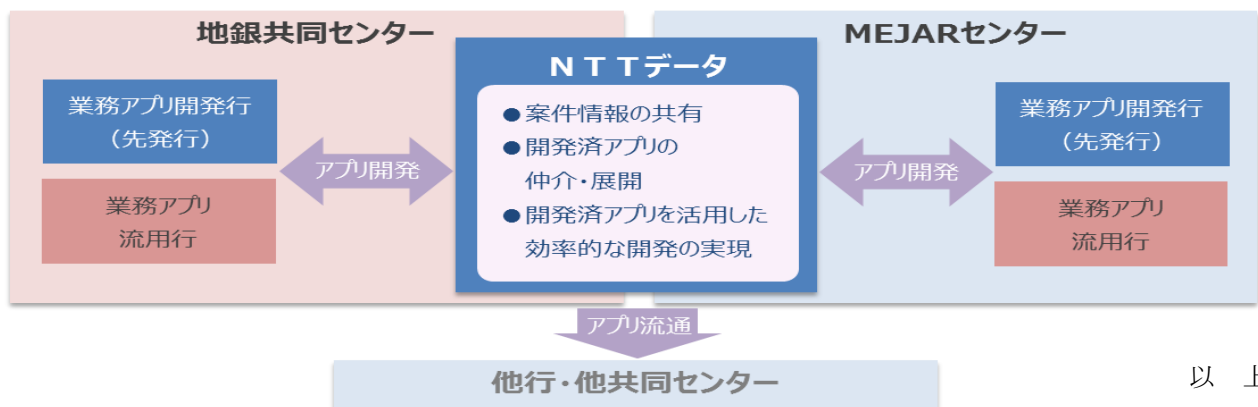
DXの加速、コロナ禍による非対面チャネルへのシフトなどにより、地方銀行各行ではデジタル化対応に伴うシステム投資が年々増加傾向であり、システムコストの削減が各行共通の課題となっています。

そこで、今回、デジタル分野での顧客サービスを効率的に拡充するため、CMS-WGの参加銀行、および株式会社NTTデータを中心として、相互流通スキームの立ち上げに至りました。

なお、相互流通スキームには、CMS-WG以外の銀行も幅広く参画をいただく予定です。

#### 2. 相互流通スキームの概要

- ▶ 両センターの先発行で開発済みの業務アプリ（約20業務）について、業務アプリ利用希望行（流用行）による流用が可能。流用行は、先発行の事務を踏襲することで、短期間かつ低コストで流用が可能。
- ▶ 新たな業務アプリの両センターでの共同検討の実施。
- ▶ 両センターに加え、他行・他共同センター（CMS-WG以外の銀行）へのアプリ提供を実施。



※1 各勘定系システムの共同化グループ

地銀共同センター参加行(13行)



MEJAR参加行(5行)

